

メトホルミン塩酸塩錠

250mgMT「TE」

500mgMT「TE」

を服用される方へ



—このお薬は、血糖を下げる糖尿病のお薬です。—

- ・まれに**乳酸アシドーシス**や**低血糖**を起こすことがあります。
- ・服用される前に、以下の注意をよく読んでください。

飲むときの注意

- 主治医の指示に従って、正しく服用してください。勝手に量や飲み方をかえるような自己流のやり方は危険です。
- 飲み忘れた場合は、1回飛ばして次の服用時間から通常どおり飲んでください。**絶対に2回分を一度に飲んではいけません。**

飲んだあとの注意

●乳酸アシドーシスを起こすことがあります。

(1) 乳酸アシドーシスとは・・・

- ・まれに血液の中に多量の乳酸がたまって血液がいちじるしく酸性に傾くことがあり、これを乳酸アシドーシスといいます。
- ・腎臓や心臓、肺や肝臓に病気がある人、アルコール多飲者、高齢者などで起きやすいとされています。

(2) 症状と対処方法

- ・吐き気・嘔吐、腹痛・下痢、倦怠感、筋肉痛、呼吸が異常に荒くなる（過呼吸）などの症状がみられます。これらの症状がみられたら**すぐにメトホルミン塩酸塩錠MT「TE」の服用を中止し、主治医に連絡してください。**

(3) 乳酸アシドーシスを防ぐためには・・・

- ・**お酒を飲みすぎないように注意してください。**
- ・発熱、下痢、嘔吐等の症状があらわれた場合や利尿作用を有する薬剤（利尿剤、SGLT2阻害剤等）を服用している場合は、**脱水症状を起こすことがあります。**
- ・**脱水症状にならない様に、水分を日頃から適度に摂取するように心がけてください。**
- ・**脱水症状があらわれた場合には**メトホルミン塩酸塩錠MT「TE」の服用を一旦中止し、主治医にご相談ください。
- ・メトホルミン塩酸塩錠MT「TE」を飲んでいるときは、定期的に腎機能や肝機能の検査が行われます。
- ・以下の場合はメトホルミン塩酸塩錠MT「TE」を服用していることを主治医または薬剤師に申し出てください。
 - ・手術を受けるとき
 - ・他の医師から何か薬を処方してもらうときや、薬局などで他の薬を購入するとき
 - ・新たな検査（ヨード造影剤を使用する検査など）や治療を受けるとき

飲んだあとの注意



●低血糖症状を起こすことがあります。

(1) 低血糖症状とは・・・

- ・低血糖症状とは血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、下記のような症状が起こることをいいます。
- ・メトホルミン塩酸塩錠MT「TE」は低血糖症状を起こしにくい薬ですが、他の糖尿病の薬といっしょに飲むと低血糖症状を起こすことがあります。

(2) 症状と対処方法

- ・急に強い空腹感、力のぬけた感じ、発汗、手足のふるえ、眼のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。はなはだしい場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。
- ・低血糖症状が起こったら、軽いうちは糖分をとると治ります。
普段から砂糖やブドウ糖を持ち歩き、すぐにその場で飲むことが必要です。決してがまんをしてはいけません。ただし、アカルボース(商品名:グルコバイ等)、ボグリボース(商品名:ベイスン等)、ミグリトール(商品名:セイブル)を併用している場合には、砂糖の消化や吸収が遅くなりますので、**必ずブドウ糖**をとってください。また、低血糖症状が起こったら**必ず主治医に報告**してください。

- ・低血糖症状が起こっていることを本人が気づかなかつたり、わからなかつたりすることがありますので、家族やまわりの方もいっしょに注意してください。
- ・高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事している時に低血糖症状を起こすと事故につながります。特に注意してください。

製剤写真(実物大)

250mg錠

500mg錠



- ・**薬の量や飲み方は、主治医の指導を正しく守ってください。**
- ・また、この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください。

いつもと違うと感じたら主治医にご相談ください。

連絡先等